

景気動向調査結果

－ 平成30年4月分 －

[調査概要]

1 調査対象期間 平成30年1月～3月

2 調査対象企業数 H27～

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 100% (100社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしていますが、平成30年4月分は100社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

平成30年4月の景気動向

1 総論

2年ぶりにDIがプラスに転じ、好景気感が窺えます。特に建設業は、大きくプラスに転じていますが、公共事業の年度末受注と思われれます。製造業では水引産業や伝統食品産業の落ち込みで製造業全体が減少しました。年度末の特質がプラスに影響されたと分析しています。

コスト面では原材料が前回に続いて高騰しています。金属、紙類、食材と全般に値上がりが続く。経費では運送費や燃料の値上がりです。人件費も人手不足から時間外労働や人材維持のため上昇しています。これは経営課題として最も多く、人手不足の深刻化、人が確保できないために設備の更新が遅れていること、人手不足からの流通コスト増と連鎖的な課題となっています。人手不足が与える影響は、需要や受注に対応できず、断るケースや時間外労働で対応しているケース、納期遅れ、品質低下と厳しい結果を招いています。人手不足への対応では、中途採用を強化し、労働条件の改善や募集賃金の引き上げなど苦しい経営事情を反映しており、人材不足に対する支援が急務です。

2 売上

売上は全業種では前回調査から 10.4 ポイント増加し、プラス 2.0%となりました。業種別にみると前回調査で落ち込みが大きかった反動で建設業がプラス 18.8%、同様に宿泊・飲食業がプラス 6.2%と共に大きく回復しており、全業種でのプラス回復結果に反映されています。ただ建設業からは、次期の売上予想では再びマイナスが予想されています。卸・小売業は前回調査同様、「増加」回答と「減少」回答が同数となり、動きはありませんでした。製造業は 5.7 ポイント減少しマイナスに転じました。自動化やモーター関係の受注が好調とのコメントがある一方で、水引、食品関係の伝統産業では単価は変わらないものの取引量が減少した企業が多く、業種全体ではマイナスの結果となっています。

【主なコメント】

- ・業界全体的に厳しいー卸・小売
- ・顧客の認識の変化により売上減少ー卸・小売
- ・ビールメーカーからの値上げがあり流動的ー卸・小売
- ・学校関係の受注が年々減少傾向ー卸・小売
- ・顧客年齢上昇、買い方の仕組みが変わり売上減少ー卸・小売
- ・長野県の公共工事は減少ー建設
- ・リニアの談合の影響で全国的に仕事がないー建設
- ・住宅の受注がほとんどないー建設
- ・工事数が全体的に減少ー建設
- ・2018年はオリンピック関連の受注が増加見込みー製造
- ・消費の分散化による減少ー製造
- ・毎年売上落ちる時期だが今期は落ちなかったー製造
- ・6月までの受注はあるー製造
- ・新規の受注がないー製造

- ・自動車関係の受注前倒しによる減少－製造
- ・期末の駆け込み需要が多かった－製造
- ・新商品が好調により売上増加－製造
- ・2月の寒波により取引が減少－製造
- ・FA、モーターが1割増加で受注に追われている－製造
- ・同業社の倒産による影響で先行き不透明－製造
- ・宴会が減少－宿泊・飲食
- ・大口取引先撤退により減少見込み－サービス
- ・昨年は選挙関係で良かったので今年は減少－サービス
- ・食品関係の取引先からの受注減－サービス
- ・営業力強化により売上増加－サービス
- ・学生客増により単価は低い売上増加－宿泊・飲食

3 コスト状況

原材料は「上昇」との回答が引き続き増加し、53%と半数を超えた結果となりました。コメントからも引き続き金属、紙類、糸、食材全般と様々な原材料の値上がりの声があり、経営への影響を懸念する声があがっています。人件費については定着率が悪く離職者が増加した企業や外国人の雇用比率を増やした関係などで低下した企業も6%と一部ありますが、賃金の引き上げや残業時間の増加により上昇した企業もあり、上昇が29%となっています。人材不足の影響により賃上げを実施する企業もみられました。その他経費については、全ての業種で石油価格の上昇による物流コストや光熱費の増加をあげており、前回に引き続き上昇が33%となっています。物流コストの上昇だけでなく、包装資材の上昇をコメントとしてあげた企業もありました。

【主なコメント】

(原材料)

- ・仕入先の値上げ－卸・小売
- ・建材の値上がり－建設
- ・ステンレス材、銅の値上がり－製造
- ・金属関係の値上がり－製造
- ・糸の上昇－製造
- ・円高による上昇－製造
- ・紙の上昇－製造
- ・天候不順による大豆等の値上がり－製造
- ・米が前年同期比2倍、加工米補助金打ち切りにて品薄－製造
- ・食材の値上がり－宿泊・飲食
- ・野菜類が徐々に上がっている－宿泊・飲食
- ・ビールの値上がり－宿泊・飲食
- ・魚類の値上がり－宿泊・飲食

(人件費)

- ・定期昇給分の上昇－卸・小売、製造、サービス
- ・人手不足による賃金引上げ－卸・小売、製造
- ・仕事の定着率が悪く人件費低下－建設
- ・業界内で下請け単価の上昇－建設
- ・新規採用により上昇－建設
- ・人員増により上昇－建設、製造、サービス

- ・人員自然減による低下－製造
- ・工場長、製造部長の給与を上げた－製造
- ・日本人雇用減少、外国人雇用増による減少－製造
- ・残業増による人件費増加－製造
- ・手間がかかる仕事が増え残業が増加－製造
- ・最低賃金の上昇に伴う人件費上昇－製造
- ・従業員の離職による低下－製造
- ・期末手当の上昇－製造
- ・ベースアップによる上昇－製造、サービス
- ・賃金、処遇の見直しによる上昇－サービス

(その他経費)

- ・石油価格の上昇により物流コスト上昇－卸・小売、建設、製造、宿泊・飲食
- ・メーカー負担だった小口の荷物が自社負担になったため上昇－卸・小売
- ・保管料の上昇－製造
- ・外注費が増加－建設
- ・残業増加による光熱費の増加－製造
- ・ダンボールの値上がりによる包装資材の上昇－製造
- ・設備投資による上昇－製造
- ・灯油等の暖房費上昇－宿泊・飲食
- ・エアコン等設備の修繕による上昇－宿泊・飲食
- ・修繕費による上昇－サービス
- ・水道光熱費の増加－卸・小売、製造、宿泊・飲食
- ・第2工場の稼働による上昇－製造
- ・人材募集合む広告宣伝費が上昇－サービス

4 資金繰り

前回調査では改善がみられましたが、「最近改善」「良好」との回答が減少し、従来の調査同様の結果となっています。コメントからは製造業や卸・小売業を中心として設備投資を目的とした資金の利用検討の声があがっています。表には現れていませんが、制度資金による資金繰りは約2割の企業で検討の回答があります。

【主なコメント】

- ・レジ、売掛システムソフト導入による設備投資－卸・小売
- ・ショールーム改修の設備投資－卸・小売
- ・トイレ等の改修したいが資金不足によりできない－建設
- ・月60万の返済が終わり資金繰り安定－製造
- ・建物の老朽化に伴う設備資金検討－製造
- ・工場の増設予定により制度資金利用検討中－製造
- ・研磨機、コンプレッサーの更新－製造
- ・消費税の支払いにより厳しい－宿泊・飲食

5 経営課題

「人手不足・技術者不足」の回答が 36 件と引き続き最も多くなっています。また、コストの状況にも現れているとおり、前回調査から「燃料・配送コスト上昇」との課題が増加してきており、22 件と上位に上がってきています。今回調査では「取引先の減少・撤退」との回答に卸・小売、サービス、製造業を中心に前回調査の倍の 21 件の回答があり、コメントからも取引先の倒産や減少によるとの声があがってきています。なお、今春の 2 件の倒産に関連したコメントは 1 件でした。

【主なコメント】

- ・大型店や外部との競争激化－卸・小売
- ・後継者不足による取引先の廃業－卸・小売
- ・取扱商品の大型化により運搬費の上昇－卸・小売
- ・取引先の倒産が相次いでおり連鎖が懸念される－卸・小売
- ・機械設備が修理の時期を迎えている－建設
- ・後継者がいない－建設
- ・原材料の上昇を価格に転嫁できない－製造
- ・取引先年間 3～4 社減少－製造
- ・従業員の高齢化－製造

6 雇用、人材不足について

今回は 4 月の新規雇用及び人材不足の状況についてお聞きしました。今年4月での採用では、全体の 1/4 の企業で採用があり、1～2名の採用が 17%と最も多い結果となりました。人員の過不足については 32%の企業で不足と答えており、人手不足が与える影響としては「需要や受注に対応できない」、「時間外労働や休日出勤の増加」が上位を占める結果となりました。各企業の人手不足に対する取り組みとしては、「中途採用の強化」、「募集賃金の引き上げ」、「処遇、労働条件の改善」など、募集条件の取り組みを行っている企業が多い結果となりました。

【主なコメント】

(人員の過不足)

- ・基本的には欠員が出たら補充している－卸・小売
- ・期間社員が不足している－建設
- ・若い人が入らず作業者の高齢化－建設
- ・あと 1～2 人欲しい－建設
- ・外注先もない状況－製造
- ・30 代前半以下の従業員が全体の 10%以下で求人にも集まらず将来が不安定－製造
- ・人数は適当だが戦力は不足－製造
- ・管理職が不足している－宿泊・飲食
- ・ハローワークにて求人出しても集まらない－サービス

(人手不足が与える影響)

- ・人材不足は深刻で生産効率を上げないと納期に間に合わない－製造
- ・技術により作業内容が違うので一定の社員に負荷がかかる－製造

- ・受注を断っている状況－製造
- ・新規出展計画に遅れが出ている－サービス

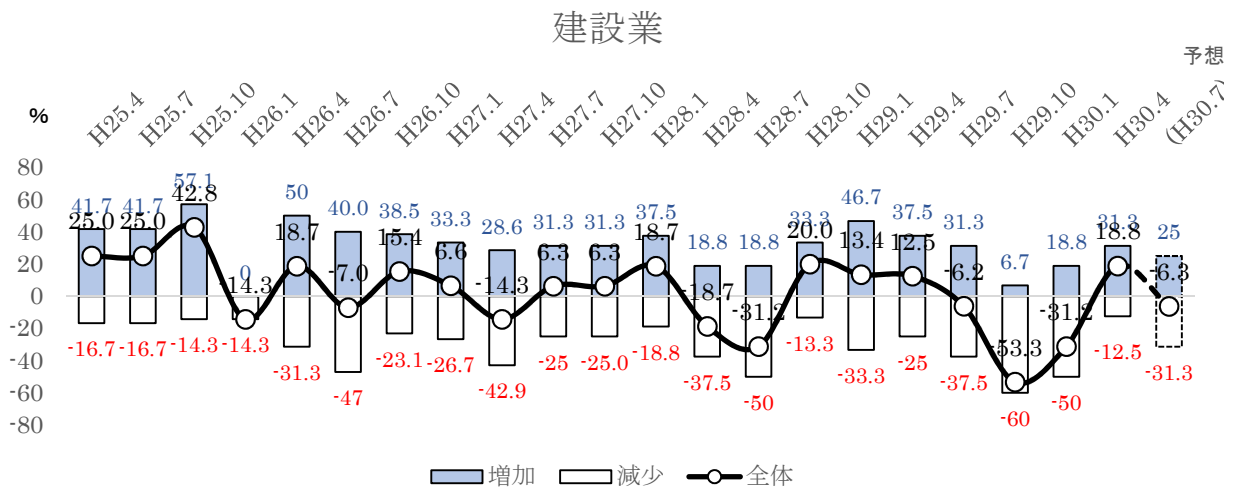
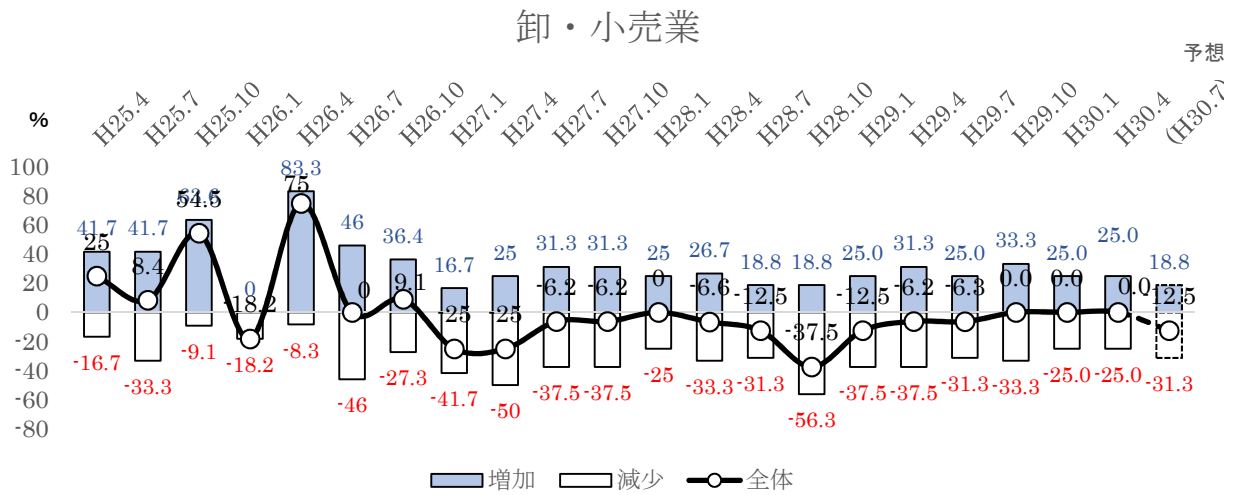
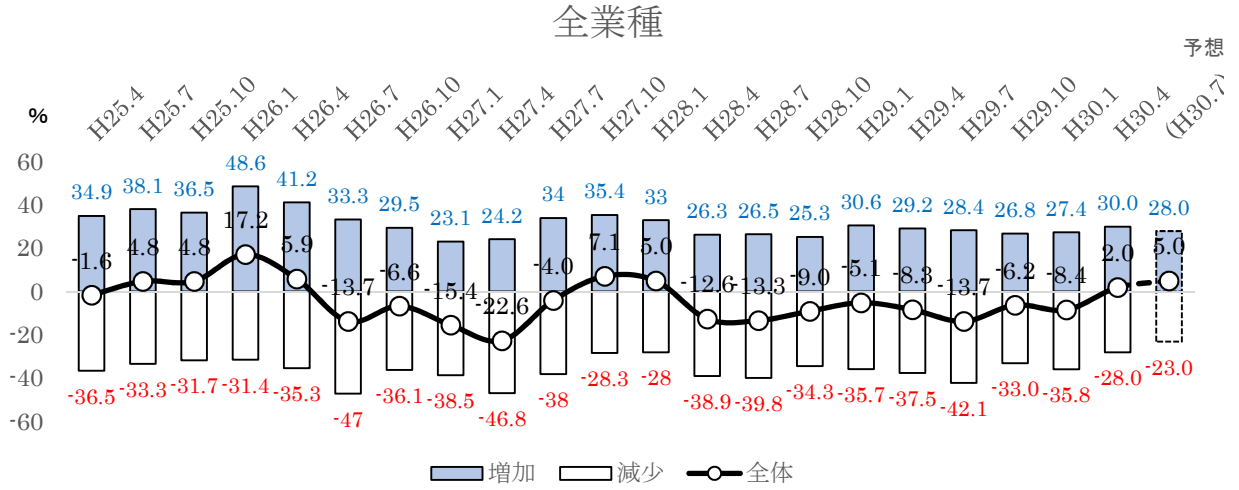
(人手不足への取り組み)

- ・小型や中型免許取得などの社員のスキルアップ－卸・小売
- ・配送ルート見直し等の効率化－卸・小売
- ・取引先関係からの情報収集－卸・小売
- ・定年を60歳から65歳へ延長した－製造
- ・IT導入によるペーパーレス化－製造
- ・若手、管理職の人材育成強化－製造
- ・若手の中途採用者の正規雇用－製造
- ・ベトナムからの海外実習生の受け入れ－サービス
- ・資格所持者を採用できないため、入社後に資格取得を目指す－サービス

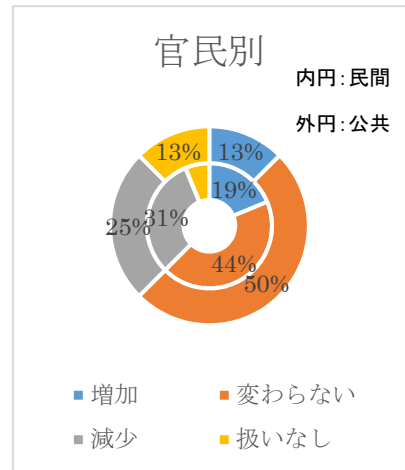
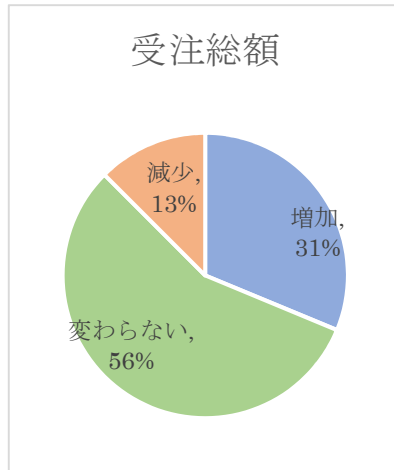
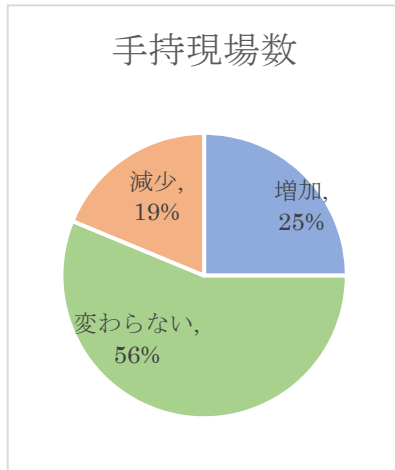
景気動向調査集計結果

I 売上・受注高

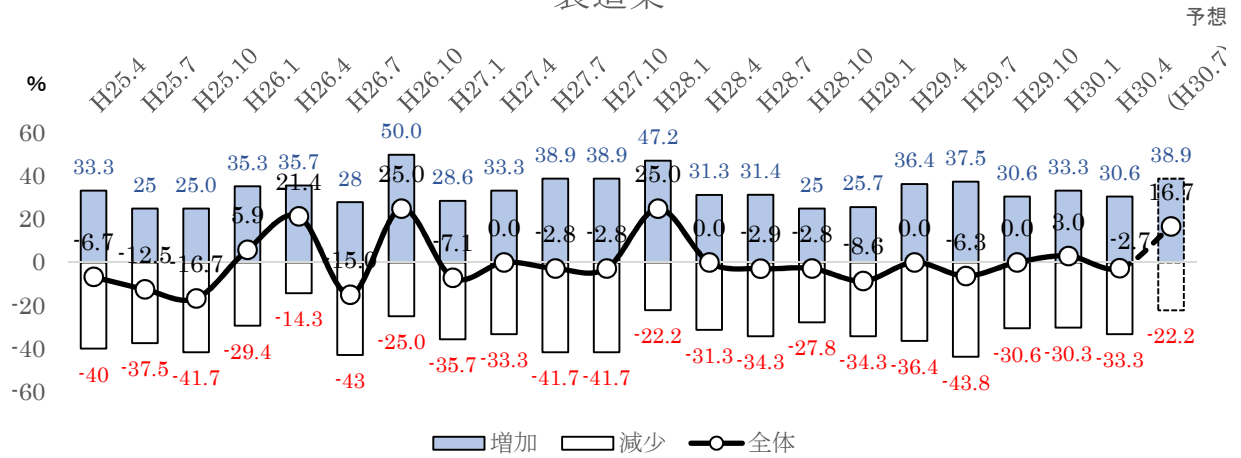
■ 最近3か月、前年同期に比べて及び今後3か月の予想



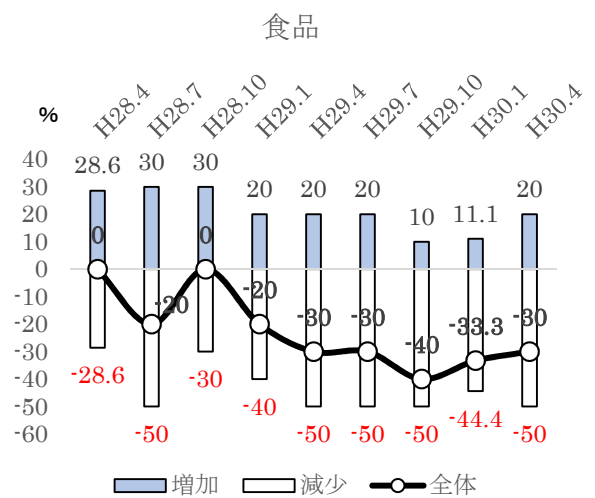
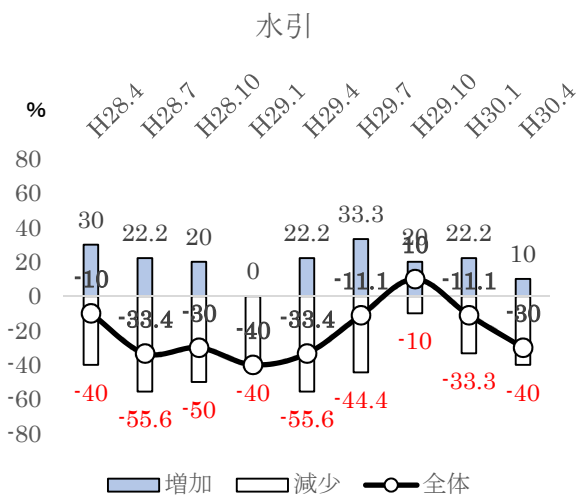
(建設業)



製造業

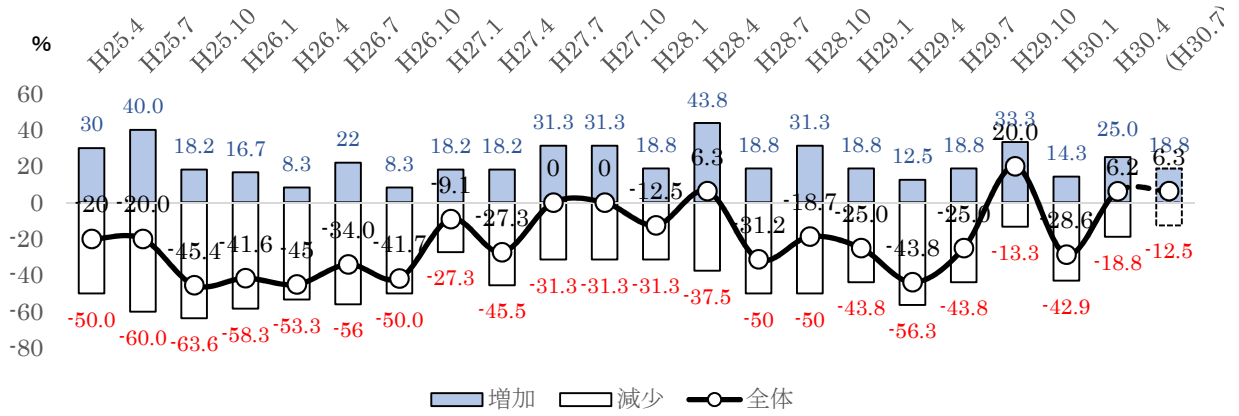


(伝統産業)



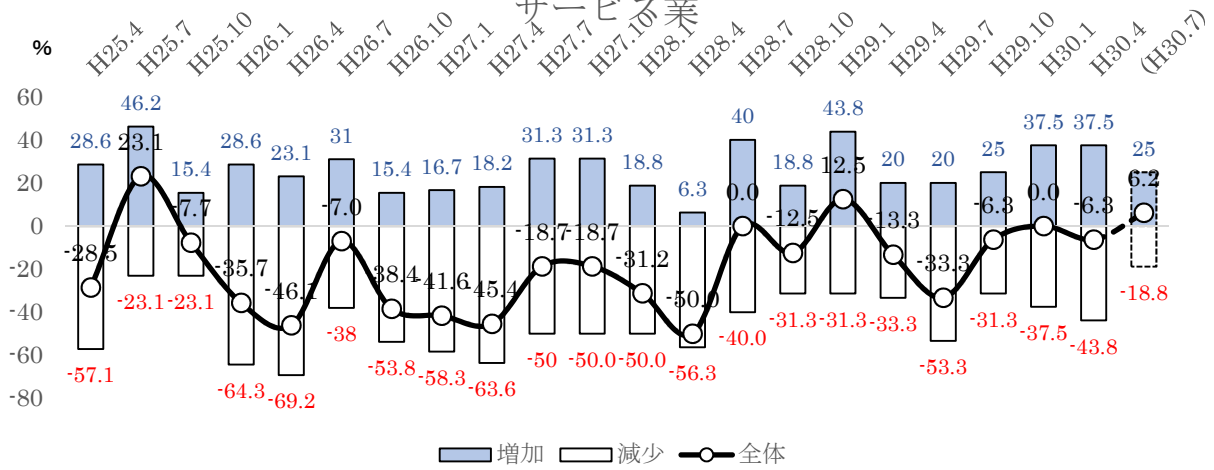
宿泊・飲食業

予想

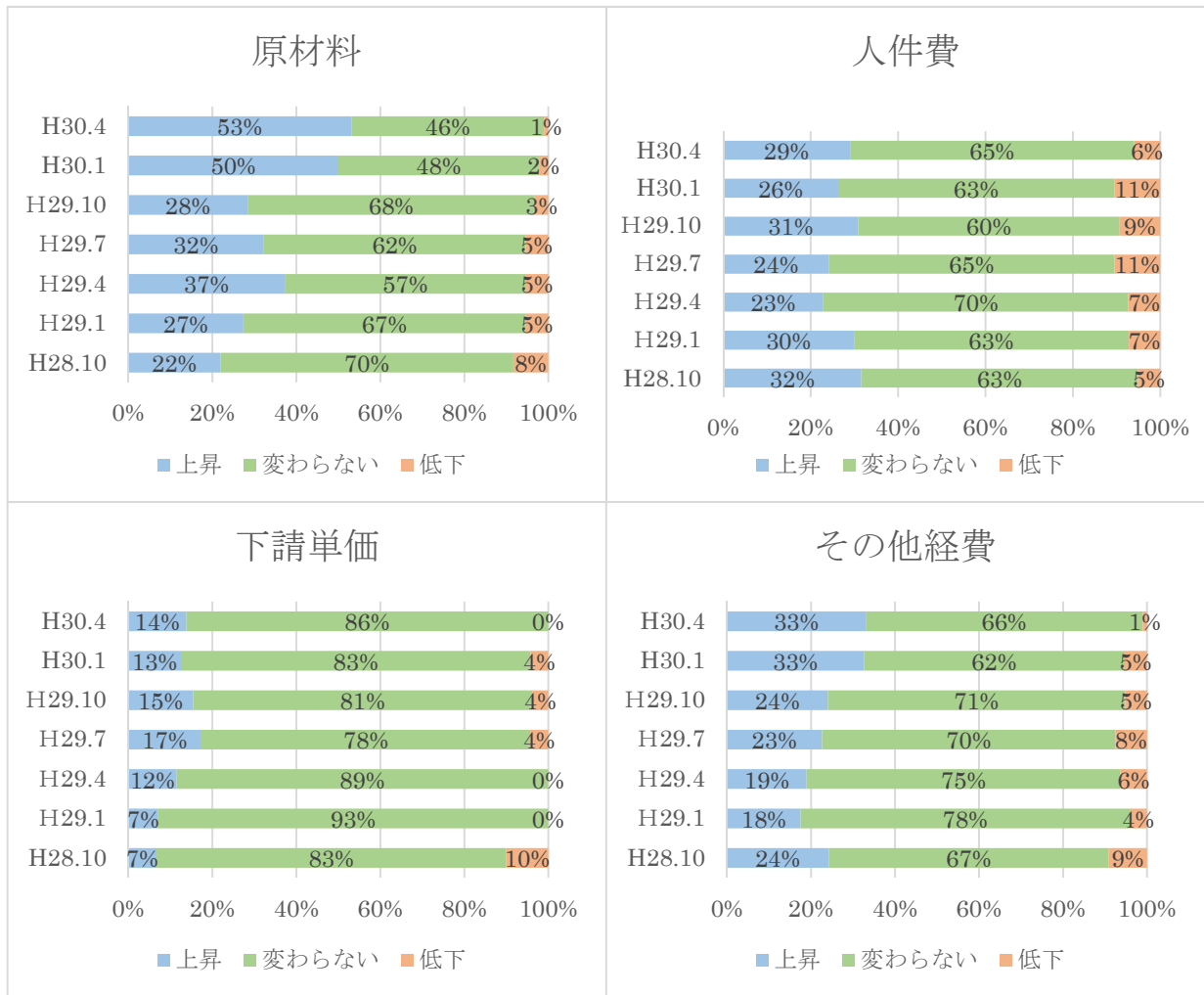


サービス業

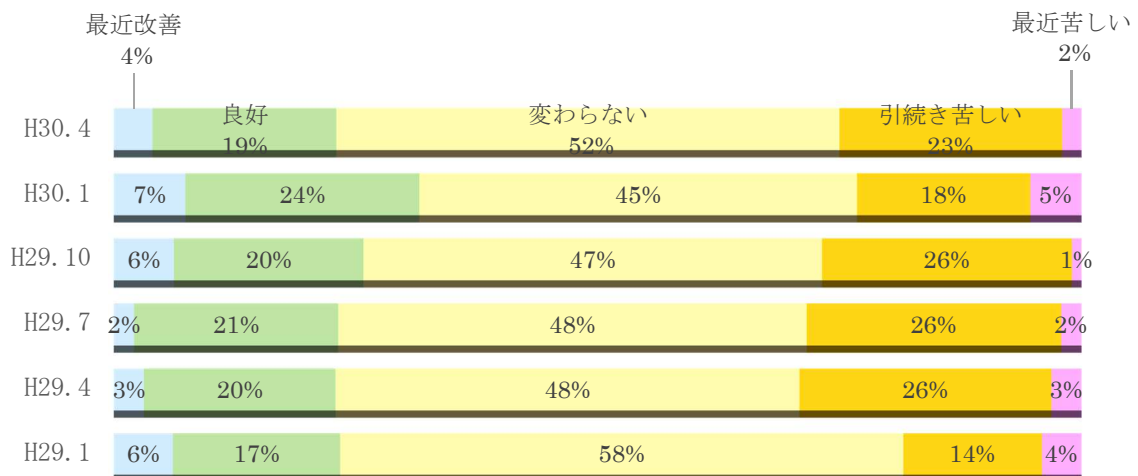
予想



Ⅱ コストの状況 —昨年同期に比べて—(全業種)



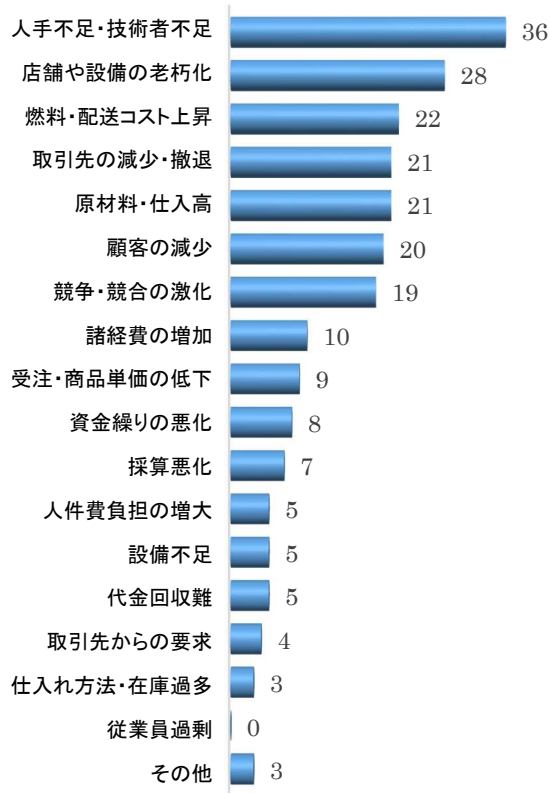
Ⅲ 資金繰りの状況 —昨年同期と比べて—(全業種)



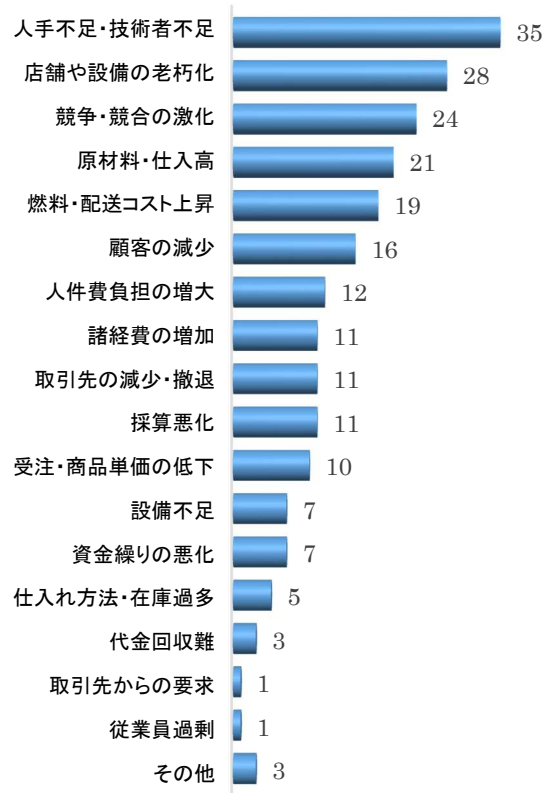
IV 経営上の現在の課題(全業種)

※3つまでの複数回答

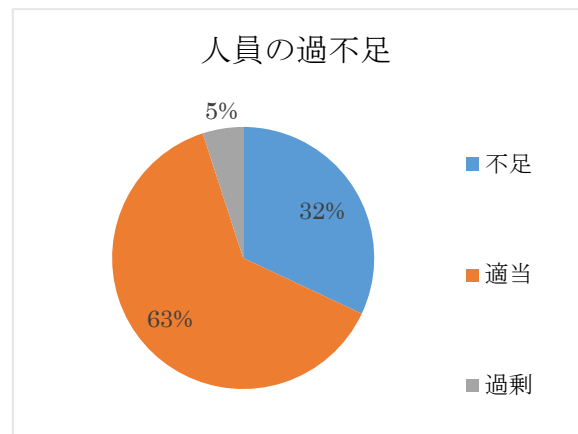
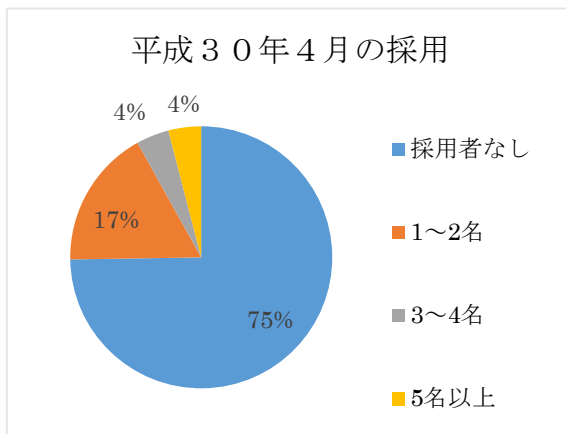
【 H30.4 】



【 H30.1 】

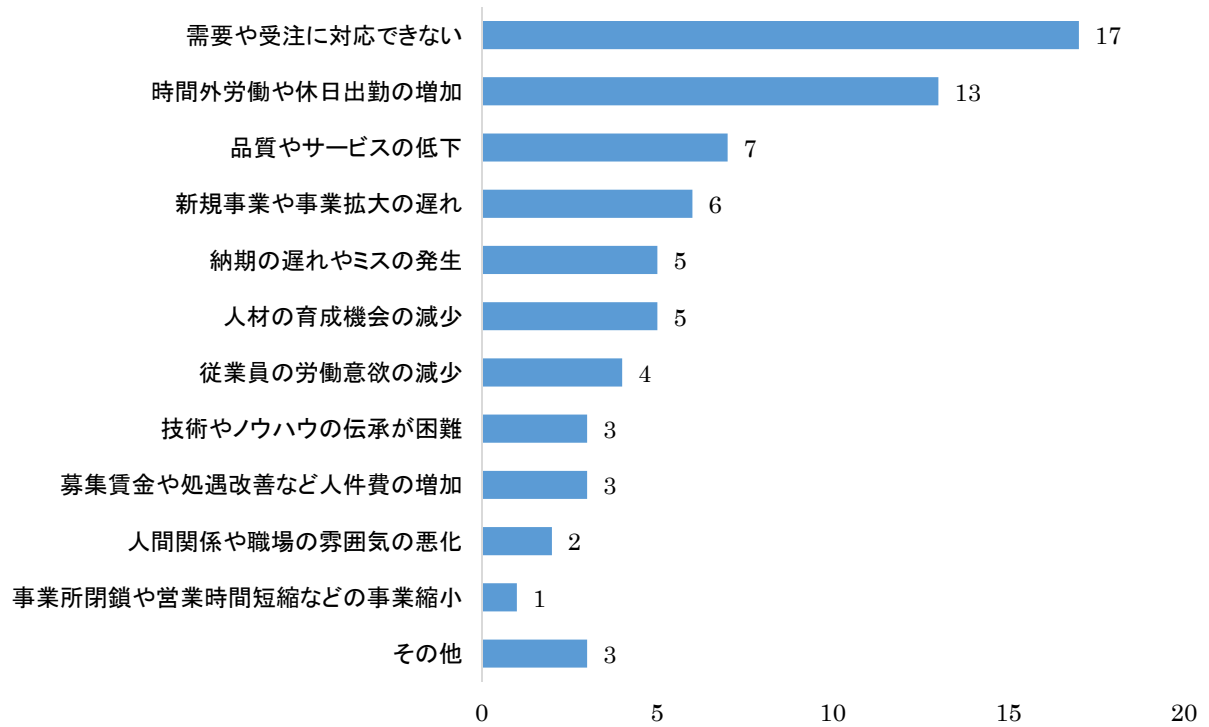


V 雇用・人材不足



人手不足が与える影響

※3つまでの複数回答



人手不足に対する取り組み

※複数回答

